

# アートまるケット

DIRECTED BY HIBINO KATSUHIKO

「アートまるケット」は、2015年にスタートした当館館長日比野克彦のディレクションによる企画です。「アートまるケット」の「まるけ」は岐阜の言葉で「まみれ」ることを意味しています。それを市場を意味する「マルシェ」「マーケット」に掛けて、岐阜を「アートまるけ」にしようという提案です。美術館を、これまで足を運んだことのない人にも気軽に楽しんでもらえる場所にしたい、人と人とが交流することで文化が生まれる場所、鑑賞する場だけでなく出会う場にした、そんな思いで建物を飛び出し、庭園での活動を行ってきました。

この企画は、県内3校のアカデミーと1校の大学院大学と協働で企画・実施しています。3年目となる2017年は美術館を飛び出し、県内7つの教育・医療・福祉施設と連携し、イベントを行いました。本書は美術館が核となり、人と人の「ツナがり」、教育・医療・福祉とのコミュニケーションの場を創造した活動の報告記録です。

ご協力いただいた、岐阜県立国際園芸アカデミー、岐阜県立国際たくみアカデミー、岐阜県立森林文化アカデミー、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]各校、及び岐阜県立大垣特別支援学校、岐阜県立可茂特別支援学校、岐阜県立岐阜盲学校、岐阜県立岐阜本巣特別支援学校、岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター、社会福祉法人 池田町社会福祉協議会 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家、特定医療法人 清仁会 のぞみの丘ホスピタルの皆様には、心よりお礼申し上げます。さらに、様々なかたちでサポートしてくださった関係者の皆様、そして何よりも、この企画をきっかけにアートにまみれてくださった多くの来館者の皆様に厚くお礼申し上げます。今後一層、岐阜、そして全国がアートまるけになりますように。

2018年9月

岐阜県美術館



## アートまるケット2017概要

日比野が提案した「ツナがり」をテーマに、各アカデミー・大学院大学が過去関係のあった教育・医療・福祉施設に声がけし、企画が始まった。美術館での展示が始まるまでに、各アカデミー・大学院大学が協力機関と連携し、会期中のイベントの計画や会場を彩る造作物の制作を行った。会期中は庭園や館内多目的ホール等を舞台に、アカデミー・大学院大学、協力機関が集まり、一般の参加者とともに各機関の特徴を活かした「ツナがる」イベントを行った。また、連携や施設の普段の様子を多目的ホールのドキュメントブースで発表することで、来館者が協力機関のことを知る場、「ツナがれば」を設けた。

### アートまるケット2017ができるまでのドキュメンタリー

#### 美術館×アカデミー・大学院大学

2016年 11月11日(金)	アートまるケット2016のふりかえり会議
12月 9日(金)	アートまるケット2016のふりかえり、2017に向けて会議
2017年 1月20日(金)	アートまるケット2017に向けた全体会議
3月 7日(火)	スケジュール、予算についての全体会議
3月16日(木)	協力機関への正式な協力依頼文書を発行
3月24日(金)	日比野が庭園の造作を構想
4月14日(金)	イベント日程、収穫祭についての全体会議
5月12日(金)	日比野と庭園の詳細について打ち合わせ
5月29日(月)	撮影についての打ち合わせ@IAMAS
	日比野がドキュメントブースの造作を構想
	イベント内容と撮影、SNSについての全体会議
	日比野が広報物のイメージをデッサン
6月 2日(金)	写真・動画撮影の協力依頼文書を発行
6月30日(金)	進捗、ドキュメントブースについての全体会議
7月24日(月)	進捗、ドキュメントブースについての全体会議
8月 7日(月)～23日(水)	本展示設置
8月20日(日)	日比野が最終映像をチェック@東京
8月23日(水)	ドキュメントブースの設置
	日比野がシェードセイルの配置を調整
8月24日(木)	ドキュメントブースの設置



アートまるケット



花と緑をあつかう職業園芸人の育成を目的に2004年に開校された専修学校。人材育成部門と生涯学習部門の2部門を設置している。人材育成部門マスター科は2年制で、高等学校卒業以上またはこれと同等の学力をもつ者を対象とした、花き生産、花き装飾、造園緑化の各コースがある。花き生産コースでは切り花や花苗の生産などについて、花き装飾コースではフラワーアレンジメントや室内園芸などについて、造園緑化コースでは造園空間の設計・施工・管理などについて学ぶ。



[所在地]  
岐阜県可児市塩1094-8

知的障がい、肢体不自由、病弱の児童生徒が学んでいる総合型の特別支援学校として、2011年4月、美濃加茂市に開校される。一人一人が笑顔で主体的に、地域で生活できる力を高めるため、一人一人の可能性を最大限伸ばし、生きる力を育て、社会に自立し、心身共に調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成している。



[所在地]  
岐阜県美濃加茂市牧野2007-1

実践的な技能・技術や専門知識を学ぶ公立の職業能力開発施設。1947年に開設された太田木工芸補導所から始まり、2003年に改称される。現場の即戦力となる人材を養成する国際たくみアカデミー職業能力開発校(設備システム科、住宅建築科、自動車エンジニア科)と、ものづくりを中心とした現場のリーダーを養成する国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校(生産技術科、建築科)の両校で、1年間または2年間の職業訓練を実施している。



[所在地]  
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3

美濃加茂市にある精神科単科病院。1964年美濃加茂病院として開設され、2002年大改築時に現在の名称に改称、生活訓練施設「さくら」や地域生活支援センター「ひびき」を開設している。精神障がい者や認知症高齢者の治療やリハビリ、社会復帰を支援し、行政や地域との連携を図り、総合的にサポートを行なっている。他に、認知症専門介護老人保健施設「サントピアみのかも」、訪問看護ステーション、デイケアを併設している。



[所在地]  
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3555

国際園芸アカデミーの学生が可茂特別支援学校の生徒と会場を彩る鉢づくり・ダイアンススの花の育成を行った。鉢の人型文様は日比野が監修し、生徒らが450鉢制作した。

場 所 岐阜県立可茂特別支援学校

できるまでのドキュメンタリー

- 2月10日(金) 15:30~17:00 可茂特別支援学校を見学、趣旨説明
- 4月24日(月) 日比野が鉢の文様をデザイン@東京
- 5月 2日(火) 15:40~16:30 鉢の形状と花の種類について打ち合わせ
- 5月~ 可茂特別支援学校の生徒が鉢を制作
- 6月16日(金) 17:00~19:00 26日に向けた打ち合わせ
- 6月26日(月) 10:00~17:00 播種と鉢づくり、撮影
- 7月14日(金) 10:00~11:40 鉢植えと鉢づくり、撮影
- 8月21日(月) 搬入、準備



日比野によるデザイン



6月16日



6月26日



7月14日

国際たくみアカデミーの学生がのぞみの丘ホスピタル地域生活支援センター「ひびき」のスタッフ、利用者とともに庭園を彩る船形プランターボックス41個を制作した。

場 所 岐阜県立国際たくみアカデミー

できるまでのドキュメンタリー

- 5月18日(木) 15:30~17:00 のぞみの丘ホスピタルスタッフが施設見学、打ち合わせ
- 6月15日(木) 16:30~17:30 イベント内容について打ち合わせ
- 6月26日(月) 14:00~17:00 のぞみの丘ホスピタルスタッフが船形プランターボックスの制作を体験
- 7月 7日(金) 10:30~18:00 利用者が学生と共にプランターボックスを制作、撮影



6月26日



7月7日





森林・林業・林産業とその関連産業分野で活躍する人材を育てる2年制の専門学校。1971年に開校した岐阜県林業短期大学校を前身に、2001年に開学された。森と木のエンジニア科は、高等学校卒業程度の者を対象とし、林業や林産業の現場で、高い安全性と経済性を両立させて活躍できる技術者を育成している。森と木のクリエイター科は、大学卒業程度または実務経験者等を対象とし、森林利活用分野(林業、森林環境教育)・木材利用分野(木造建築、木工)の現場において指導的立場で活躍できる人材を育成している。

【所在地】  
岐阜県美濃市曹代88



1957年、岐阜県立整肢学園として益田(ました)郡下呂(げろ)町(現下呂市)に開設され、1974年に岐阜市鷺山(さぎやま)に移転後、1979年から希望が丘学園に改称、2015年9月に同市則武(のりたけ)に新築移転、希望が丘こども医療福祉センターと改称された。児童福祉法にもとづく医療型障害児入所施設であるとともに、医療法に基づく病院でもある。「児童一人ひとりが尊厳のある生活を将来にわたって送ることができるように支援する」ことを基本理念とし、障がいの予防、障がいの軽減、子ども達の将来にわたる安心に努めている。

【所在地】  
岐阜県岐阜市則武1816-1



情報科学芸術大学院大学(Institute of Advanced Media Arts and Science)は科学的知性と芸術的感性の融合を理念に掲げ、情報社会の中での新しい表現者を養成する大学院大学。2001年に開設、英語の頭文字からIAMAS(イアマス)と呼ばれている。研究科はメディア表現研究科、課程は修士課程のみの大学院として、1学年20人の少数精鋭主義の教育、研究を行っている。

【所在地】  
岐阜県大垣市  
加賀野4丁目1-7



1974年に岐阜県立大垣養護学校として大垣市に設置された。2017年4月より、知的障がい単独から、知的障がい、肢体不自由、病弱の生徒が学ぶ総合型特別支援学校となった。「強く 明るく 仲良く」生きようとする意欲を高め、可能な限り社会に参加していくための基礎的・基本的な力を身に付け、自ら「生きる力」を培うことを教育目標に掲げている。小学部、中学部、高等部の3学部が設置されている。



【所在地】  
岐阜県大垣市  
西大外1丁目227番地1



森林文化アカデミーの学生が自然物を用いたワークショップを行った。その後子どもたちもスタッフとなって10月9日開催の「森と人がつながるワークショップ」を計画し、ワークショップで使用するアイテムや販売用のTシャツを準備した。

場 所 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

できるまでのドキュメンタリー

- |                      |                                |  |
|----------------------|--------------------------------|--|
| 2月21日(火) 15:00~16:00 | アートまるケット趣旨説明、打ち合わせ             | <br>4月20日  |
| 3月 2日(木) 9:00~10:30  | ワークショップについて打ち合わせ、施設見学<br>施設見学  |  |
| 4月20日(木) 15:30~17:30 | ワークショップ「木育 積み木で遊ぼう」            | <br>5月11日 |
| 5月11日(木) 15:30~17:00 | ワークショップ「しぜんとあそぼ!」              |  |
| 5月18日(木) 15:30~17:00 | ワークショップ「しぜんとあそぼ!」、撮影           |  |
| 6月 8日(木) 15:30~17:00 | ワークショップ「しぜんとあそぼ!」、撮影           |  |
| 6月22日(木) 15:30~17:00 | ワークショップ「MOTTAINAI工房『虫を作ろう』」、撮影 |  |
| 7月 6日(木) 15:30~17:50 | ワークショップ「森と人がつながるワークショップ」企画会議   |  |
| 7月13日(木) 15:45~17:20 | 「森と人がつながるワークショップ」に向けた制作準備      |  |
| 8月30日(水) 9:50~11:25  | 「森と人がつながるワークショップ」に向けた制作準備      |  |
| 9月 6日(水) 15:30~16:30 | 会場確認、打ち合わせ@美術館                 |  |



6月8日



6月22日



7月13日

場 所 岐阜県立大垣特別支援学校

できるまでのドキュメンタリー

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 5月30日(火) 16:30~17:00 | デザインについて打ち合わせ |
| 6月14日(水) 16:00~16:30 | 撮影について打ち合わせ   |
| 7月12日(水) 8:45~18:30  | スタンプ制作、撮影     |
| 8月22日(火) 10:30~12:00 | 設置、準備         |



イラストの作成



打ち合わせ



6月14日



7月12日

